

文学部日本文学科 教育課程編成・実施の方針

文学部日本文学科では、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

文学部日本文学科のカリキュラムは、幅広い深い教養と総合的な判断力を培うとともに、論理的思考能力とコミュニケーション能力を磨く全学共通科目と、学部固有科目で構成されます。

<専門教育課程（学部固有科目）の構成>

1. 卒業所要単位は124単位であり、学部固有科目は以下の科目群に分けて編成します。

- ①日本文学及び日本語学を学ぶ上での基礎を身につける科目（基礎科目）として、「日本語学入門Ⅰ・Ⅱ」「日本文学入門Ⅰ・Ⅱ」「日本文学史Ⅰ・Ⅱ」「比較文学Ⅰ・Ⅱ」を配置します。
- ②基幹科目として、「日本語史・日本語学史Ⅰ・Ⅱ」「上代文学を読むⅠ・Ⅱ」「中古文学を読むⅠ・Ⅱ」「中世文学を読むⅠ・Ⅱ」「近世文学を読むⅠ・Ⅱ」「近代文学を読むⅠ・Ⅱ」「中国文学を読むⅠ・Ⅱ」「現代文学Ⅰ・Ⅱ」「児童文学」「大衆文学」「外国文学の世界」等を配置します。
- ③展開科目として、「国語表現法Ⅰ・Ⅱ」「中国文学Ⅰ・Ⅱ」「中国文学史」「演劇の世界」「コンピュータ活用技術」「コンピュータで学ぶ文章作法」「日本語文法Ⅰ・Ⅱ」「日本語音声学Ⅰ・Ⅱ」「国語教材論Ⅰ・Ⅱ」「中国文学を読むⅢ・Ⅳ」「日本語日本文学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ」「大衆文化」「現代日本語論Ⅰ・Ⅱ」「メディア史」「芸能文化」「文章技術論Ⅰ・Ⅱ」「会話技術論Ⅰ・Ⅱ」「レトリック論」「読書の文化史」「文字の文化史」「出版の文化史」「翻訳論」「民俗芸能論」「文化人類学」「日本文化史」「古文書読解入門」「有職故実」「書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「書道史Ⅰ・Ⅱ」「書論」「書学」「コミュニケーション・スキルⅠ・Ⅱ」「図書館概論」「図書館情報資源概論」「仕事のコミュニケーション」「インターンシップ」「海外留学科目」「短期海外研修」等を配置します。
- ④演習科目として「日本語日本文学演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」を配置します。

2. 本学科では、1年次に基礎科目16単位を履修し、2年次に基幹科目のうちの選択必修科目から12単位以上と、演習科目である「日本語日本文学演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を履修し、3・4年次に卒業研究の執筆へと導く演習科目「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」8単位を履修するという形で、段階的な学

びができるようなカリキュラムを組んでいます。また、隣接する言語表現学科及び歴史文化学科の科目も卒業所要単位としてそれぞれ8単位まで履修することができます。

3．本学科カリキュラムの中に、以下の特色を持つ科目を設置します。

- ①「郷土の文学」：東海地方出身の作家や、東海地方にゆかりのある文学作品について理解することにより、歴史を通じて形成された愛知県の文化の特質等について考えます。
- ②「図書の世界」：中京大学図書館が所蔵する、この地区の大学では質量とも屈指の和書等の実物を示し、見て、さわることにより、昔の書物に対する理解を深めます。
- ③「短詩型文学の世界」：短歌、俳句という世界に例のない定型詩の共通点と相違点を学び、海外の人にも説明できるような知識を身につけます。

4．「学修成果」と科目との関係は、以下のとおりです。

- ① 日本文学の歴史の変遷について理解し、説明することができる。
「日本文学史Ⅰ・Ⅱ」「日本文学入門Ⅱ」等
- ② 日本文学と世界の他地域の文学との関わりについて理解し、説明することができる。
「比較文学Ⅰ・Ⅱ」「中国文学を読むⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「中国文学Ⅰ・Ⅱ」「中国文学史」「外国文学の世界」「演劇の世界」「翻訳論」等
- ③ 日本語の口語や文語に関する正しい知識や文字を修得し、上代から現代まで各時代の文学作品を正しく読み解くことができる。
「日本文学入門Ⅰ」「日本語学入門Ⅰ・Ⅱ」「日本語史・日本語学史Ⅰ・Ⅱ」「上代文学を読むⅠ・Ⅱ」「中古文学を読むⅠ・Ⅱ」「中世文学を読むⅠ・Ⅱ」「近世文学を読むⅠ・Ⅱ」「近代文学を読むⅠ・Ⅱ」「現代文学Ⅰ・Ⅱ」「日本語文法Ⅰ・Ⅱ」「日本語音声学Ⅰ・Ⅱ」等
- ④ 日本文化の諸相について理解し、説明することができる。
「書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「書論」「書学」「児童文学」「大衆文学」「日本語日本文学特論Ⅱ」「民俗芸能論」「文化人類学」「日本文化史」「有職故実」等
- ⑤ 日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。
「国語表現法Ⅰ・Ⅱ」「コンピュータで学ぶ文章作法」「コミュニケーション・スキルⅠ・Ⅱ」「仕事のコミュニケーション」等
- ⑥ 卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的・創造的に研究・調査できる。
「日本語日本文学演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」「コンピュータ活用技術」「図書館概論」「国語教材論Ⅰ・Ⅱ」等